

全国・海外からの観光客を誘因する
古代から現代までの日本の歴史文化を体感できる
「九州アイランド・歴史体験ツアー構想」
～日本人の原点・スピリットを求めて～

1 はじめに

九州には7つの県があり、それぞれの県で観光に力を入れている。

また、「九州観光推進機構」もあり、情報の共有化も進められている。

しかし、情報量が総花的で多く、必ずしも観光客の増加に貢献しているとは言い難い。

さらに、着地型・滞在型・体験型の観光が近年強調されている状況にしては、まだまだ「体験型観光」開発が不十分である。ネットで検索しても、九州全体で9件しか存在していない。また、テーマを「歴史ロマン」に絞ると8件しかない。

私は、鹿児島県出水市で「着物で出水武家屋敷を歩こう会」というイベントを5年前から、ボランティア団体で企画実施し、年ごとに観光客が増加してきた。この企画は、着物で武家屋敷を散策し、琴の演奏を聴きながら抹茶と和菓子をいただき、着物と帯はお土産としてお持ち帰りいただくという3時間の体験ツアーである。参加費は5000～8000円という格安の値段である。これは、地元の着物リサイクル業者と連携して実現できたものである。観光客は、ほとんど出水市外、海外からの参加である。また、出水市は「農家民泊」に力を入れており、修学旅行や外国人客も増加している。

この成功体験に基づき、また大分宮崎以外の九州5県に居住した経験や九州の歴史に関心を持ち学んできた経験に基づき、私は九州全体で歴史体験観光ツアーを企画実施することを提案したい。

2 「九州アイランド・歴史体験ツアー構想」

海外から見れば、九州は日本の南にある自然と歴史豊かなひとつの島である。

その島を1週間で、各地の専門ガイド付きで多くの体験をしながら周遊する画期的な長距離バスツアーである。

私は、1年前からこの構想を温めてきたが、つい先日、似たようなツアーが発表された。南薩観光（南九州市）が、全国の貸し切りバス事業者9社で「ジャパン・コーストライン・アライアンス（JCA）」をつくり、九州を回る4泊以上の長距離バスツアー商品の販売を始めた。価格は12万5千円からで、欧米の富裕層をターゲットにしている。（2017・9・2 南日本新聞）ちなみに、南薩観光は私たちの「着物で武家屋敷を歩こう会」の企画にいち早く着目し、体験ツアーをPRしてくれた意欲的な企業である。

<私の提案構想の特徴>

- ① テーマを「日本の歴史体験観光」に絞り込んだもの（忍者・着物武家屋敷散策・伝統芸能鑑賞等）
- ② 福岡空港から長距離バスで九州を一周する利便性の高いもの
- ③ 各地の「体験観光専門ガイド」（できれば外国語も使用）によるより詳細なもの
- ④ 宿泊はできるだけ歴史的な和風旅館や農家民泊（ホームステイ）を利用するもの
- ⑤ 費用も10万以下に抑え、誰でも参加しやすいもの
- ⑥ 日程の都合上、長崎は割愛したが、一日伸ばして入れることは可能である。

<1 日目>

九州の玄関口である博多の古代から現代までの歴史を体感する
福岡空港出発～宗像大社～大宰府～都府楼～九州国立博物館
～福岡泊



宗像大社

宗像の地は、中国大陸や朝鮮半島に最も近く、外国との貿易や進んだ文化を受け入れる窓口として、重要な位置にありました。日本最古の歴史書といわれる「日本書紀」には、「歴代天皇のまつりごとを助け、丁重な祭祀を受けられよ」との神勅（しんちよく）（天照大神のお言葉）により、三女神がこの宗像の地に降りられ、おまつりされるようになったことが記されています。

九州国立博物館

九州国立博物館は、全国4つある国立博物館のひとつ。「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」という、他の3館とは異なるコンセプトを持ちます。スーパーハイビジョンシアターで歴史を体感します。

大宰府・都府楼—徒歩で散策します



大宰府は文明のクロスロード

かつて「遠の朝廷」と称された「大宰府政庁」が置かれていた大宰府の地は、アジアと日本の文化が交差した場所でした。

アジアに開かれた玄関口として、遠くは西アジアやヨーロッパからの文物なども伝えられました。大宰府は、九州の政治経済・軍事・外交

を司る役所として、奈良時代・平安時代において特に大きな役割を果

たしました。中心部には政庁の建物が立ち並び、律令制に基づき1,000人を超える官人が働いていたといわれています。

天智2年(663)、日本が唐・新羅の連合軍に負けた白村江の戦い後、水城や大野城とともに造られ、その後整備拡充されたと考えられています。現在、大きな礎石が残る大宰府政庁跡は、国の特別史跡に指定されています。

夜は、博多の歓楽街中洲の屋台で夕食、博多座で歌舞伎鑑賞。

(福岡市内泊)

<2 日目>

佐賀・吉野ヶ里遺跡（邪馬台国・卑弥呼伝説）～嬉野温泉
「忍者体験」嬉野温泉泊



吉野ヶ里遺跡は、紀元前5世紀から紀元後3世紀までの弥生時代、日本で稲作の文化が始まり、定住文化が根付いた日本の文化の原点ともいえる時代の遺跡です。弥生時代の遺跡の中でも吉野ヶ里遺跡は、佐賀県神埼郡の旧神埼（かんざき）町・旧三田川（みたがわ）町・旧東脊振（ひがしせぶり）村の3つの町村にまたがった我が国最大の遺跡で、弥生時代における「クニ」の中心的な集落の全貌や、弥生時代700年間の移り変わりを知ることができ、日本の古代の歴史を解き明かす上で極めて貴重な資料や情報が集まっています。これらは日本の様子を記した最古の記録である魏志倭人伝に出てくる「邪馬台国」の時代を彷彿とさせるもので国の特別史跡にも指定されています。また、有柄銅剣やガラス製管玉等の出土品は国の重要文化財に指定されるなど、高い学術的価値を有するものです。

<肥前夢街道で忍者に変身>

・元祖忍者村、肥前夢街道で忍者に変身、あこがれの忍者体験をしていただきます。

手裏剣・吹き矢等を体験し、忍者ショーや大道芸等のアトラクションを鑑賞

1300年の歴史を誇る嬉野温泉泊

<3日目> 熊本城～水前寺公園～鹿児島・出水市（農家民泊）

波乱と栄華に満ちた「熊本城」400年のものがたり。

慶長12(1607)年、茶臼山と呼ばれた丘陵地に加藤清正が当時の最先端技術と労力を投じて、名城熊本城を築城します。以後、熊本城は400年に亘る日本の様々な歴史の重要な舞台となっていきます。加藤清正から宮本武蔵、谷干城など歴史に名を刻んだ歴史の主人公たちが繰り広げる熊本城400年の歴史をお楽しみ下さい。戦国時代からタイムスリップした「熊本城おもてなし部隊」がガイドします。



水前寺成趣園(すいぜんじじょうじゅえん)

水前寺成趣園は熊本県熊本市中央区にある大名庭園。面積約7万3000平方メートル。通称は水前寺公園。豊富な阿蘇伏流水が湧出して作った池を中心にした桃山式回遊庭園で、築山や浮石、芝生、松などの植木で東海道五十三次の景勝を模したといわれる。

鹿児島県出水市

出水麓武家屋敷を着物で散策、江戸時代の武士・侍の生活を体験する（着付け、写真撮影、茶道、琴、能・謡曲体験）、着物・帯はプレゼント、お土産としてお持ち帰りできます。

出水農家民泊（ホームステイ）



<4日目> 早朝、鶴観察（10月～3月）それ以外の月はクレインパーク博物館見学
午後出水市～鹿児島市へ
鹿児島市・江戸時代から明治維新を体感する
（城山・維新ふるさと館・仙巖園・尚古集成館）

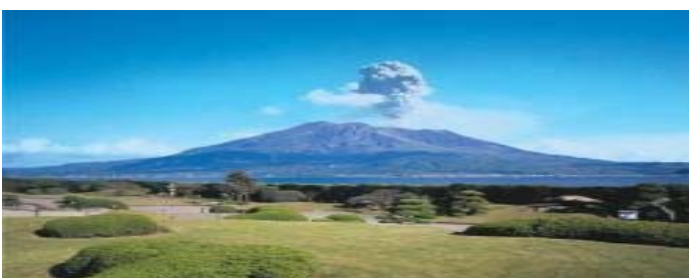


<維新ふるさと館>で幕末から明治維新の日本の近代化の歴史を体感します。

<仙巖園>で桜島を見ながら殿様気分を味わえます。

仙巖園は、万治元（1658）年、19代島津光久によって築かれた別邸です。錦江湾や桜島を庭園の景観にとりいれた、雄大な景色が仙巖園の最大の魅力です。幕末の名君、28代島津斉彬がこよなく愛し、徳川将軍家に嫁いだ篤姫も足を運びました。

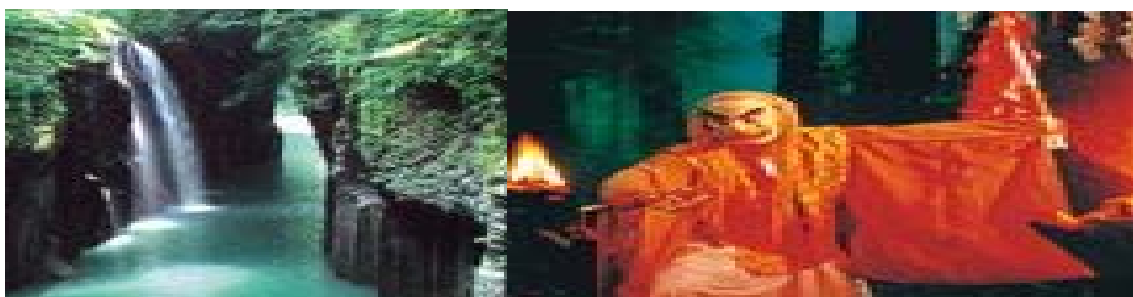
また、南の玄関口といわれた薩摩の歴史・風土にふさわしく、中国文化の影響が色濃く見られることが仙巖園の特色の1つです。



尚古集成館で、日本の近代化の黎明の背景と実像を体感（鹿児島泊）



<5日目> 鹿児島から宮崎へ
宮崎高千穂峡（夜神楽鑑賞）宮崎泊



宮崎は、日本民族の原点、神話の舞台となった地です。
国の重要無形文化財である夜神楽を鑑賞し、悠久のロマンと日本誕生の神々の物語を体感しましょう。

<6日目>大分別府温泉、湯布院泊



別府温泉は日本一の源泉数と湧出量を誇る温泉です。湯布院温泉は雄大な由布岳のふもとにある温泉で、映画祭と音楽祭が毎年開かれる芸術文化が盛んな地です。

最終日を露天温泉で、ゆっくりと旅の疲れをおとりください。（湯布院温泉泊）

<7日目>

福岡空港へ、終了解散